



**第11号**  
 発行所  
 長野県飯田OIDE長姫高等学校  
 同窓会  
 会長 須山和彦  
 発行人  
 会報編集 清水 勇  
 印刷  
 三晃印刷株式会社

令和5年度は従来の同窓会の運営から、いくつかの見直しを行いました。役員数ですが、正副会長事務局長延べ従来の8人から5人体制とし、事務局長と事務員兼務から事務局長と事務員をそれぞれ置き事務の分担を明確にしました。また、新校卒業生にこの同窓会に少しずつ理解を示し関わってもらいたいと、会則を変更し「学校推薦理事」を学校長に推薦していただき会長が2名指名

す。未熟者ですが任期まで精一杯努めますのでよろしくご指導、ご協力のほどお願い申し上げます。  
 10月7日統合創立10周年記念事業には、実行委員はじめ多くの会員の方々にご出席いただき多く、無事盛大にかつ厳かに終了いたしました。感謝申し上げます。



6月の総会において二期目の会長を仰せつかりました須山和彦で



にありがとうございます。また、10月7日には統合創立10周年記念式典



日頃より、本校教育活動に對しましてご理解ご支援を賜り、誠に



いたしました。これからは、飯田長姫高校・飯田工業高校・飯田OIDE長姫高校の各OBの三本柱で協力し合い同窓会の運営に携わっていただきます。  
 同窓会の運営に関し、いま一番の悩みは、会費の徴収のことです。飯田長姫高校・飯田工業高校各OBは高齢化を迎え会員の減少、それに伴う会費徴収の困難さが出てきて各支部とも苦慮している状況です。今年度はこの問題に各支部とともに取り組んでまいります。  
 浅学非才な者がもう一期務めまします。なにとぞご叱正、ご教授お願いいたします。

同窓会長あいさつ



開催におきまして、同窓会の皆様方には実行委員会の運営から、当日の業務に渡るまでご支援いただきました。皆様のおかげを持ちまして、厳粛かつ盛大に開催することができました。この場をお借りしまして、御礼申し上げます。当日ご来場をいただいた、来賓の皆様方から素晴らしい式典、生徒発表であったと賞賛のお言葉をいただくことができました。式辞でもお話しさせていただきましたが、生徒の活動が、本校の活力であり、エネルギーであると思えます。引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。

# 令和5年度定期総会開催される

同窓会事務局長 清水 勇

令和4年度定期総会が、6月3日(土)午後2時よりシルクホテルにおいて開催されました。コロナ感染症も5月8日から5類以降になり、法律に基づいた外出自粛の要請は無く、感染対策は個人の判断になり、今年度の総会は会合1週間前の行動は個人判断に任せ開催を行い、当日発熱などの症状がある人は不参加でお願いをしました。

統合10周年の取組みに対して、同窓会への感謝の言葉が有りました。また学校の取組みとして、地域協創スペシャリスト育成プログラムの取組み、生徒の全国大会出場スポーツ、文化教育活動での活躍など取組みの紹介の話もありました。

同窓会長の挨拶では、統合創立10周年記念事業も各部会を主体に進んでいること、式典は2部構成で、1部は式典、2部は生徒の取組み発表で行う予定、記念品は生徒の案を主体に進める方向、校歌碑の建立を取組んでいくなどの話があり、祝賀会も多く会員参加を頂きたいとの挨拶がありました。また支部の無い地区の取組みについて、今年度全ての支部ができるよう取組んでいるとの話がありました。

議事では、令和4年度事業・決算報告、令和4年度創立10周年記念事業の事業報告・決算報告、令和5年度事業計画・収支予算、5年度統合創立10周年記念事業補正予算の提案が有り全て満場一致可決されました。詳細は次のページに掲載して有ります。

2部の生徒活動発表は、ラグビー部活動報告、電気部活動報告、コンピュータ制御部「テックレインジャーショー」の発表が有りました。

総会終了後は楽しい懇親会が開催されました。

来賓の松原校長先生の挨拶では、

## 新役員名簿

役職	氏名
会長	須山 和彦
副会長 事務局長	清水 勇
副会長	井口 昇治
〃	澤柳 孝彦
副会長 事務局	塩澤 りゑ子
学校推薦理事	田中 史也
〃	千賀 琴美
監事	小木 曾俊夫
〃	井坪 隆



テックレインジャー



防災ベンチの製作

## 令和4年度 収支決算書

自 令和4年4月1日	収入決算額	16,366,608円
至 令和5年3月31日	支出決算額	12,682,319円
	差引残額	3,684,289円

## 収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	増減(△)	備 考
1 入会金	894,000	891,000	△ 3,000	新入生297名×3,000円
2 維持費	7,894,000	7,578,400	△ 315,600	
(1)一般納入金	5,550,000	5,306,400	△ 243,600	振込305千円 集金5,001千円
(2)卒業時納入金	2,344,000	2,272,000	△ 72,000	
3 雑収入	1,889,812	1,563,020	△ 326,792	マイクロバス使用料ほか
4 繰入金	1,500,000	1,500,000	0	積立金より
5 繰越金	4,834,188	4,834,188	0	
合 計	17,012,000	16,366,608	△ 645,392	

## 支出の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	増減(△)	備 考
1 運営費	4,866,000	3,596,177	△ 1,269,823	
総会費	1,500,000	965,670	△ 534,330	
会議費	1,100,000	580,465	△ 519,535	
旅 費	140,000	171,912	31,912	
需要役務費	756,000	698,130	△ 57,870	
(1)水道光熱費	6,000	5,827	△ 173	
(2)通信費	200,000	235,528	35,528	電話代ほか
(3)雑 費	50,000	30,955	△ 19,045	
(4)事務費	500,000	425,820	△ 74,180	封筒代ほか
慶弔費	350,000	160,000	△ 190,000	支部総会祝儀・餞別ほか
人件費	1,020,000	1,020,000	0	
2 事業費	8,010,000	7,086,142	△ 923,858	
(1)学校支援事業	2,070,000	1,929,050	△ 140,950	
会員歓迎費	140,000	139,650	△ 350	卒業証書ホルダー
授業等支援協力金	600,000	600,000	0	OIDE会より2,000千円
クラブ活動助成金	80,000	80,000	0	飯田自動車学校寄付金
その他活動助成金	200,000	60,000	△ 140,000	
リース料	1,050,000	1,049,400	△ 600	マイクロバスリース料
(2)会報発行費	1,750,000	1,746,988	△ 3,012	会報・関係書類印刷等
(3)建立費	1,500,000	1,188,000	△ 312,000	
(4)名簿管理費	100,000	100,000	0	
(5)手数料	1,750,000	1,549,241	△ 200,759	集金・払込手数料
(6)負担金	140,000	40,000	△ 100,000	
(7)支部育成費	500,000	398,963	△ 101,037	支部育成費
(8)助成金費	150,000	84,400	△ 65,600	
(9)ホームページ管理費	50,000	49,500	△ 500	
3 積立金	2,000,000	2,000,000	0	
4 予備費	2,136,000	0	△ 2,136,000	
合 計	17,012,000	12,682,319	△ 4,329,681	

## 令和4年度 事業報告

入学式(学校)	南信地区高等学校定時制通信制生徒
OIDE会引継ぎ(育友会館)	生活体験発表会(箕輪町文化センター)
監査会(育友会館)	会報委員会(育友会館)
理事会(育友会館)	同窓会報第10号発行
OIDE会(シルクホテル)	定時制文化祭(学校)
第18回春季ゴルフコンペ (高森カントリークラブ)	支部長会(育友会館)
定期総会(シルクホテル)	第1回監査(育友会館)
特別支援金贈呈(学校)	第19回秋季ゴルフコンペ(飯田カントリー倶楽部)
信大新学部誘致推進協議会総会(文化会館)	飯田工業校歌碑建立(学校)
野球部激励会(学校)	マイコンラリーカー全国大会出場激励会(学校)
建築会学校との意見交換会(学校)	理事会・委員会・役員新年会(砂払温泉)
全国大会出場選手激励会(学校)	飯伊地区高等学校同窓会連絡協議会 (シルクホテル)
校内生活体験発表会(学校)	学校支援金贈呈(校長室)
学校との意見交換会(育友会館)	SBCテレビにて特別番組放映
OIDE会事務引き継ぎ(育友会館)	全日制・定時制卒業式(学校)
全国大会優勝報告会(学校)	事務局引継ぎ(育友会館)

## 令和5年度 事業計画

- 令和5年度総会の開催  
日時 令和5年6月3日(土) 午後2時  
会場 シルクホテル  
内容 4年度事業・決算報告、5年度事業計画(案) 予算(案)  
統合創立10周年記念事業 事業・決算報告、補正予算(案)  
会則変更、役員改選
  - 学校支援事業
  - 会報第11号の発行
  - 支部組織の拡大・充実の支援
  - 会員増強に関する事業
  - 執行役員会の開催
  - 理事会、支部長会の開催
  - 各委員会及び各種会議の開催
  - 会員名簿管理
  - ホームページの更新、管理
  - 会の目的推進に寄与する事業への補助
  - 飯伊地区高校同窓会との連携
  - 母校との連携
  - その他執行役員会で必要とした事業
- ### 5年度重点事業
- 統合創立10周年記念事業の開催  
日時 令和5年10月7日(土) 午後1時30分  
場所 式典 飯田文化会館(1部・2部)  
祝賀会 シルクプラザ
  - 会費徴収方法検討委員会(仮称) 立ち上げ
  - 飯田OIDE長姫高等学校校歌碑の建立

### 積立金明細

令和5年3月31日現在

年度始積立金	20,678,757円
新規積立金	+ 2,400,000円
解約(一般会計へ)	△ 1,544,952円
(記念事業会計へ)	△ 8,000,000円
預金利息	+ 126円
年度末積立金合計	13,533,931円

(単位:円)

科目	摘要	金額
定期預金	飯田信用金庫名古屋支店 No. 0112706	800,606
〃	〃 No. 0122254	2,001,087
〃	〃 No. 0144901	400,082
〃	〃 No. 0152481	400,048
〃	〃 No. 0158754	400,014
〃	〃 No. 0164012	400,007
〃	〃 No. 0164020	1,000,017
〃	〃 No. 0168715	400,000
〃	〃 No. 0168723	2,000,000
〃	〃 No. 0010588	4,000,048
	飯田信用金庫計	11,801,909
定期預金	八十二銀行八幡支店 No. 40266	1,732,022
	八十二銀行計	1,732,022
	合計	13,533,931

### 扇風機特別会計(貸付金)

貸付残高	1,194,000円
PTA返済金 5.3.17	400,000円
貸付残高 5.3.31	794,000円

### 監査報告

一般会計・10周年特別会計

上記会計の帳簿及び伝票を監査致しました結果、正確であることを証します。

令和5年4月20日

監事 小本 俊夫

監事 井原 隆

## 令和4年度 統合創立10周年記念事業収支決算書

至 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

収入予算額 8,000,030円

支出予算額 295,398円

差引残額 7,704,632円

## 収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	増減(△)	備考
繰入金	8,000,000	8,000,000	0	積立金より
祝賀会会費	600,000	0	△ 600,000	
寄付金	0	0	0	
雑収入	0	30	30	預金利息
合計	8,600,000	8,000,030	△ 599,970	

## 支出の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	増減(△)	備考
1 運営費	3,500,000	295,398	△ 3,204,602	
(1) 祝賀会費	1,400,000	0	△ 1,400,000	
(2) 会議費	650,000	78,533	△ 571,467	打合せ会食事代
(3) 旅費	180,000	148,955	△ 31,045	各地区訪問旅費
(4) 印刷費	260,000	0	△ 260,000	
(5) 会場費	0	0	0	
(6) 消耗品費	140,000	11,880	△ 128,120	
(7) 通信費	30,000	26,030	△ 3,970	はがき代
(8) 事務費	640,000	30,000	△ 610,000	各地区訪問経費
(9) 謝礼	200,000	0	△ 200,000	
2 事業費	3,093,000	0	△ 3,093,000	
(1) 校歌碑建立費	1,500,000	0	△ 1,500,000	
(2) 学校備品整備費	593,000	0	△ 593,000	
(3) 記念品費	0	0	0	
(4) 支部助成金	1,000,000	0	△ 1,000,000	
3 予備費	2,007,000	0	△ 2,007,000	
合計	8,600,000	295,398	△ 8,304,602	

## 令和5年度 収支予算書

至 令和5年4月1日	収入予算額	14,219,000円
至 令和6年3月31日	支出予算額	14,219,000円
	差引残額	0円

## 収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1 入会金	936,000	894,000	42,000	新入生312名×3,000円
2 維持費	7,590,000	7,894,000	△ 304,000	
(1)一般納入金	5,270,000	5,550,000	△ 280,000	振込270名 集金5,000名
(2)卒業時納入金	2,320,000	2,344,000	△ 24,000	卒業生290名×8,000円
3 雑収入	2,008,711	1,889,812	118,899	新年理事会・総会参加費、マイクロバス使用料
4 繰入金	0	1,500,000	△ 1,500,000	
5 繰越金	3,684,289	4,834,188	△ 1,149,899	
合 計	14,219,000	17,012,000	△ 2,793,000	

## 支出の部

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1 運営費	4,312,000	4,866,000	△ 554,000	
総会費	1,200,000	1,500,000	△ 300,000	
会議費	800,000	1,100,000	△ 300,000	役員会ほか
旅 費	200,000	140,000	60,000	
需要役務費	792,000	756,000	36,000	
(1)水道光熱費	12,000	6,000	6,000	
(2)通信費	230,000	200,000	30,000	電話代、切手代
(3)雑 費	50,000	50,000	0	
(4)事務費	500,000	500,000	0	コピー機リース料、封筒代
慶弔費	300,000	350,000	△ 50,000	支部総会祝儀
人件費	1,020,000	1,020,000	0	
2 事業費	5,506,000	8,010,000	△ 2,504,000	
(1)学校支援事業	1,136,000	2,070,000	△ 934,000	
会員歓迎費	154,000	140,000	14,000	卒業証書ホルダー
授業支援金	0	600,000	△ 600,000	学校支援金2,000千円OIDE会より
その他支援金	100,000	200,000	△ 100,000	
クラブ活動助成金	80,000	80,000	0	飯田自動車学校寄付金
リース料	802,000	1,050,000	△ 248,000	マイクロバス
(2)会報発行費	2,080,000	1,750,000	330,000	
(3)建立費	0	1,500,000	△ 1,500,000	
(4)名簿管理費	100,000	100,000	0	
(5)手数料	1,500,000	1,750,000	△ 250,000	集金手数料、払込手数料
(6)負担金	140,000	140,000	0	
(7)支部育成費	350,000	500,000	△ 150,000	支部育成費
(8)助成金費	150,000	150,000	0	女性部、ゴルフ会 土木会ほか
(9)ホームページ管理費	50,000	50,000	0	
3 積立金	2,000,000	2,000,000	0	
4 予備費	2,401,000	2,136,000	△ 265,000	
合 計	14,219,000	17,012,000	△ 2,793,000	

長野県飯田OIDE長姫高等学校  
統合創立十周年記念 記念式典・生徒発表

日時 2023年(令和5年)10月7日(土)  
午後1時30分開会

会場 飯田文化会館(飯田市高羽町)

記念式典次第 (13時30分)

- 一 開式の辞
- 一 実行委員長 式辞
- 一 学校長 式辞
- 一 教育委員会 あいさつ
- 一 来賓祝辞
- 一 来賓紹介
- 一 祝電披露
- 一 記念品贈呈
- 一 閉式の辞

生徒発表 (14時30分~16時)

飯田OIDE長姫高等学校  
校歌 虹の道標  
作詞・作曲 羽場仁志

一心に一粒の種  
大切に育てていこう  
涙はうるおいの雨  
小さな蕾はやがて花になる  
どんな未来を咲かせられるか  
それは太陽に向かい  
伸び立つ向日葵

あの空に虹を架けよう  
心に虹を架けよう  
明日照らす道標  
強く歩き出す

二 折れることのない翼  
向い風の中を行こう  
太陽目指し伸ばす腕  
扉を開ければ光が差し込む  
腫の奥に あふれる未来  
いつの日か胸を張って  
舞い立つ天の龍

あの宇宙の彼方 駆けよう  
夢の欠片を集めて  
明日描く道標  
がむしゃらに進め

# 統合創立10周年記念事業

## 式辞

十年たちました。二〇一二年飯田長姫高校と飯田工業高校が統合するとの話が出て何とも言えない思いにさいなまれる中、二〇一三年四月新校、長野県飯田OIDE長姫高等学校が誕生し、本年度統合創立十周年を迎えました。

天高く秋晴れの良き本日、長野県飯田OIDE長姫高等学校統合創立十周年の記念式典を盛大かつ厳かに挙げていきますこと感激とともに、本日まで陰に陽に本校に対して携わっていただいた方々に心より敬意と感謝をしてお礼申し上げます。

本日は公私ご多忙にもかかわらず、来賓の皆様はじめ多くの方々にご出席賜り、式典に花を添えていただきまして、心よりお礼申し上げます。

この新校名の由来は、県下で初の総合技術高校で学ぶ生徒たちが、グローバルな視点を持ってこれからの産業経済の発展に寄与できる人材に育ってほしいと、命名され「長姫」と「OIDE」精神を併記し両校の伝統と歴史と技術を尊重継承とするものです。この前身となる飯田長姫高校は、今年で創立百年を超える歴史を誇り一九五四年(昭和二十九)には春の甲子園で優勝という快挙を筆頭に数々の功績をあげてきた素晴らしい伝統を兼ねそろえた高校であり、一方飯田工業高校は、技術は飯田工業と言われるほどの高度の技術を持った卒業生が、地元はもとより全国でいまでも活躍し「OIDE」精神を基調とした創立八十数年の歴史と技術の高校であります。

私共、同窓会組織は、この十年間の間に、旧長姫高校同窓会各支部と旧飯田工業高校同窓会各支部との統合に精力的に取り組む、飯田・下伊那・上伊那の一部の各支部すべての三二支部が統合しました。そして、関東支部・中部支部・関西支部・長野県北信支部も構成され、この十年間に卒業した飯田OIDE長姫高校の卒業生が同窓会活動と一緒にできる場になってほしいと、その環境づくりも行ってきたところであります。おかげさまでその会員数も三万五千人を超えているところであります。ところがこの新校には校歌の碑がありませんでした。卒業生も新入生も寂しい思いでした。この時代に即した新しい感覚・感性に満ち溢れた、そして旧長姫・工業・そして新校の想いが入った校歌の作詞作曲者は、地元龍江出身の羽場仁志先生の作であり、我々の想いを深く・甘く・意義深く表現してくれています。その碑を同窓会が建立し、先日羽場先生をお招きし除幕式を行いました。きっと生徒たちに

も未永く自分たちの校歌として大切にしていただけなのだと思います。高この校歌は第二部で披露いたしますが、吹奏楽部用に編成した楽譜も同窓会で寄贈させていただきます。

この統合創立十周年事業にかかわって来た実行委員は次のような三つの想いで準備を進めてまいりました。一つは、この十年新校にとまどいながらもこの学校で学ぶ学生生徒たちは、本当に真つすぐに一生懸命生きてまいりながら取り組み多くの成果を残してまいりました。県下で初めて総合技術高校への道筋をつくったそのことの意味と大きさを、多くの皆さんに理解してほしいと本日の式典の次に行われる「生徒たちの発表」はすべて学校に任せし、生徒たちのオリジナルな感性を生かした企画・制作・発表の場としました。ぜひお楽しみください。また、お手元のパンフレット、記念品等も生徒たちのオリジナルの作品です。ぜひお帰りなつたりゆつくり見ていただきたいとお願ひいたします。二つ目は、望むと望まざるにかかわらず統合した飯田長姫と飯田工業両高校同窓会は両校の意義と名誉をかけ議論しあい、わが母校がなくなる思いを乗り越え、新しい高校同窓会として発足し両校の各支部を統合させ関東・中部・関西・北信各支部とも連携を取りながらひたすら新校の発展に尽くしてまいりました。正直いまだ母校を失った悲しい思いは拭い去りませんが、この統合創立十周年事業にも先頭に立って進めてまいりました。三つめは、いままた盛んに県内高校の再編成統合が進められており、この学校を契機に「総合技術高校」が増え続けられております。そのような県の方針にこの学校が先進校として見本になればと、心血を注いでまいりました。このような思いを県教育委員会様にはご理解いただき、有意義にして多くの人たちが納得した再編統合が進展することを、我々は望むものであります。

私は今、個人的に夢を描いております。今後この伊那谷南信州は、リニア中央幹線・三遠南信自動車が開通し、新大谷設置も誘致されるものすごい発展をしていく地となります。その時この地はどのように進めばよいのでしょうか。やはり歴史と伝統と技術で発展してほしいとおもいます。それにはこの「総合技術高校」を生かしたこの地に高等専門学校が必要と考えませんか。この飯田OIDE長姫高校をもとに前進し、長野高等専門学校のよう飯田高等専門学校、飯田高専となりリニア中央幹線の日本の中心地及び三遠南信自動車道で豊橋・浜松の工業地域の近接工業先進地としての役割を果たせる。

大きな未来都市の学校として発展してほしいと思っております。そのためにもこの学校は、この十年で培った地元へ愛され、地元に必要な技術力を身に付け、地元にも貢献できる学校として同窓会と一体となりこれからも歩んでまいります。

最後になりましたが、この節目の十周年にあたり先生方や先輩の方々が築き上げてくれた歴史と伝統と技術をしつかり受け継ぎ、未来に受け継いでいくような新たな決意を持ったところでございます。

本日は、統合創立十周年式典に多くの皆様お集まりいただきありがとうございます。今後ますます当校の発展をご祈念申し上げます。二〇二三年十月七日

長野県飯田OIDE長姫高等学校  
統合創立十周年実行委員会  
実行委員長 同窓会長 須山 和彦

## 目録

- 一、飯田OIDE長姫高等学校校歌碑 一基
- 一、飯田OIDE長姫高等学校 校歌吹奏楽用楽譜 一式
- 一、十人乗りワゴン車 一台

右の名を、飯田OIDE長姫高等学校  
統合創立十周年記念の記念品として  
寄贈いたします

令和五年十月七日

飯田OIDE長姫高等学校同窓会  
会長 須山 和彦  
飯田OIDE長姫高等学校校長 様

# 同窓会寄贈 「シンボル石」



飯田OIDE長姫高校で、同窓会が学校に校歌碑を寄贈した。9月13日には除幕式があり、完成した校歌碑がお披露目された。2013年に飯田長姫高校と飯田工業高校の統合により開校し、校歌は飯田市出身の作曲家羽場仁志さん(60)が作詞作曲を手掛けた。

校歌碑は昇降口近くに設置。高さ約1・5メートル、幅約2メートル、奥行き約0・8メートルで、地元産の花こう岩を使用した。



除幕式には学校関係者や同窓会、施工会社、羽場さんらが出席。多くの生徒も見守る中で幕が取り除かれた。

あいさつで須山和彦同窓会長(75)は「同窓会で校歌碑がないのは寂しいとの声があり、設置した。校歌だけでなく校歌碑も大切に学校シンボルにしてほしい」と語った。

松原均校長は「校歌は生徒だけでなく卒業生や地域住民にとっても心の支え。立派な碑を寄贈していただきありがたい」、生徒会長の福澤麗さんは「私は『空に虹が架かる』という歌詞が好き。この歌詞のように学校の未来に虹が架かってほしい」とそれぞれ感謝を伝えた。

羽場さんは楽曲に込めた思いなどを語り「10年、20年といわず100年先もこの地に残る校歌となつてほしい」と願った。

同窓会は校歌碑のほか、ワゴン車と吹奏楽部用の校歌の楽譜を寄贈。除幕式では吹奏楽部が初めての校歌演奏を披露した。

### 1. 10人乗りワゴン車(リース料、同窓会)贈呈

統合創立10周年記念事業の記念品として、学校と相談をする中で少人数の部活も有り、マイク口運転するには大型自動車免許が無ければ使用できず、普通自動車免許で運転する普通自動車がありがたいとの要望があり、10人乗り普通自動車を同窓会がリース料を払い、学校に寄贈することにになりました。



### 2. 校歌碑建立

令和5年9月13日(水)  
午後4:30 除幕式

校歌・吹奏楽演奏  
同窓会長挨拶

除幕 松原校長・羽場仁志・丸山事務長・田中石の晃和  
須山会長・吉村教頭・児玉先生・福澤生徒会長

### 3. 校歌吹奏楽、楽譜贈呈

### 4. お礼の言葉

松原校長  
福澤生徒会長

### 5. 来賓挨拶 羽場仁志

### 6. 感謝状贈呈(石の晃和)

謝辞(田中社長)

### 7. 閉会の辞

# 十周年記念式典を 終えて

式典担当 澤柳孝彦

秋晴れの下行われた「統合創立10周年記念式典」、参加いただいた全ての皆様のおかげで、成功裏に無事終えることが出来ました。感謝申し上げます。

思い起こせば一年前に始めた準備会段階では、式典会場を当校体育館で行うことでスタートしました。体育館には様々な制約があり、どう計画したらよいか悩みましたが、飯田文化会館に会場が決まったからは、順調に推移しました。同窓会、学校及び生徒がそれぞれ役割をこなし、思い出となる節目を過ごすことが出来ました。

最後に、実行委員の皆様にご感謝申し上げます。また式典を盛り上げるため尽力していただいた文化会館職員の皆様、オギソ看板、飯田ケーブルテレビ、綿半レンタル、そして先生の皆様に改めて感謝します。同窓会・学校・生徒との一体感を醸成できた行事でした。

## 県関係式典協力お礼報告

統合創立10周年記念事業に大変お世話になりました。県知事及び県教育長に小池県会議員に同行をお願いして、私会長と清水副会長とお礼に10月19日県庁へ行つてまいりました。

県知事にはお会いできませんでしたが、秘書課長から素晴らしい式典であったとの県知事のお言葉をいただき、内堀教育長には直接面会でき長時間お話しさせていただきました。この10年

間新高校で戸惑う中、生徒はじめ関係者がよく頑張ってくれた。また、長姫・工業の卒業生がいろいろなわかまりを乗り越え素晴らしい式典を開催していただいた。この成功した式典で、いま県教育委員会を進めている高校統合再編にも良い影響を与えていただき、総合技術高校への理解を深めていただけた。とお言葉をいただいたことを確信してまいりました。

報告者 会長 須山和彦



須山和彦

同窓会長

内堀繁利

県教育長

清水 勇

事務局長

小池 清

県会議員





# 統合創立10周年 記念祝賀式

式典終了後シルクプラザにおいて、午後5時より参加160名ほどで祝賀会が行われました。司会は長姫OBで飯田・FMの松枝美咲さんが務め、初めに須山実行委員長の挨拶、次にオープニングの木遣りで祝賀会が始まりました。木遣りは同窓会北信支部長の小池さんと「芹田木遣り会」5人の皆さんにより道中木遣り、お祝いの木遣りを盛大に披露してくれました。続いて県教委の倉田様の祝辞があり、次に須山会長、他来賓の皆様による鏡開きを行い、引き続き4人の県会議員の挨拶と小池県議の音頭で乾杯が行われ懇親会が始まりました。

余興ではOIDE長姫高等学校OBの「和太鼓 心Shin常磐太鼓」による祝い太鼓の演奏が賑やかに行われ楽しい宴会となりました。

途中松原校長より、生徒が主体で作成した記念品「万年カレンダー」の説明がありました。

締めめの万歳は広域連合長の、佐藤健飯田市長による万歳三唱で、楽しく盛大な祝賀会が終演となりました。



# 令和4年度 同窓会支援の対象事業一覧

本年度の同窓会支援事業につきまして、支援希望を募り検討の結果、次のように支援対象を決定し支援金を贈呈しました。

支援対象事業	申請者・団体名称	概 要	助成額(円)
授業支援金	同窓会 定時制 商業科	マイクロバス管理費	400,000
		定時制授業支援	162,896
		地域活性プロジェクト	23,376
ものづくり支援金	機械工学科 建築学科	技能士支援金 技能士支援金	123,012 23,159
クラブ活動助成金	原動機部	競技用車両製作のための費用	187,000
	テニス部	テニスコート使用料他	73,000
	コンピュータ制御部	テックレンジャーショー費用	35,000
	女子バスケットボール部	電子スコアシステム使用料補助	20,000
	電気部	競技用ロボット制作費用他	135,000
	バドミントン部	ガット張り購入	97,000
	野球部	黒土 15㎡	100,000
	ラグビー部	トレーニングルームの整備	300,557
競技大会報奨金	商業研究部	団体 県高等学校ワープロ競技大会出場新人戦	5,000
	原動機部	団体 Ene-1GP SUZUKA KV40 チャレンジ全国大会 KV1	65,000
	電気部	団体 ROBOCON IN 信州マイコンカーラリー競技	5,000
	水泳部	個人 高等学校総合体育大会水泳競技大会	40,000
	建築研究部	個人 ものづくりコンテスト	5,000

助成合計金額：2,000,000円

## 主な支援対象事業の報告

### ラグビー部

今年度は、3年生13名・2年生17名・1年生11名で活動させていただいています。

4月に行われた7人制大会では初優勝することができ全国大会に出場することができました。春総体でも半世紀ぶりに優勝することができ北信越大会に出場し多くの経験をさせていただくことができました。これもOBの方はじめ多くの同窓生にサポートしていただきここまで伝統を積み重ねてこれました。ありがとうございます。少しでも恩返しできるように全力で日々取り組んでいきます。



## 原動機部

7月30日(日)三重県にある鈴鹿サーキットにて開催された「2023 Ene-1 SUZUKA Challenge KV-40・KV-Moto チャレンジ全国大会」に参加しました。単3電池40本をエネルギーとして、手作りの電気自動車と電動自転車走らせます。電気自動車部門は鈴鹿サーキットフルコースを3回走り、そのタイムアタックの合計タイムを競います。電動自転車部門は1回のタイムアタックと30分間の耐久レースになります。

3年生6人、2年生11人、1年生7人がチーム丸となってレースに臨み、3つのクラスで高校生部門1位を獲得し、2部門で総合1位を獲得しました。さらに電気自動車の高校生部門では両クラスで11連覇を達成することができました。

### KV-40 (電気自動車)

- Div1クラス(一般・学生、車両重量制限なし)  
高等学校部門1位(総合3位)
- Div-nextクラス(学生のみ、車両重量35kg以上)  
高等学校部門1位(総合1位)

### KV-Moto (電動自転車)

- Div-Nextクラス(学生のみ、車両重量15kg以上)  
高等学校部門1位(総合1位)



## 女子バスケットボール部

女子バスケットボール部は1年生3名、2年生5名の計8名で、県大会出場を目標に毎日練習に励んでいます。南信高校総体では惜しくも負けてしまいました。その反省をもとに良い所は更に伸ばし、改善点は妥協なく改善してゆくことを確認し、日々の練習、土日の練習ゲームに取り組んでいます。大分ディフェンスで粘れるようになり、成果が現れ始めました。南信高校新人ではベスト8に入り、長野県高校新人大会では1勝したいと思っています。



## 機械工学科

### 技能検定

機械工学科、電子機械工学科では、希望者に対して旋盤と機械検査の技能検定の取得に向けた訓練や講習を行っています。指導者には本校職員に加え、本校OBの技能士や現代の名工となられた方による指導を受け、技能士の合格を目指し日々励んでいます。



## バドミントン部

日頃よりバドミントン部へのご支援頂きありがとうございます。バドミントン部は総勢60名の生徒が活動しています。毎年度、シャトルの購入費用をご支援いただいているお陰で団体、個人ともに県大会に出場することが出来ました。活動ができるのも、地域の方々やOB・OG、応援して下さる方がいるからです。ありがとうございます。



## 野球部

日頃より、野球部の活動に厚いご支援を頂き、誠にありがとうございます。毎年度グラウンドの整備費をご支援頂いているお陰で日々全力で練習に打ち込むことが出来ています。

夏季大会以降、新チームとなってからは、2年生12名、1年生14名、計26名で活動しています。近年安定して県ベスト16の成績を修めることが出来ていますが、さらなる飛躍を目指して部員・顧問一同、一層努力して参ります。今後とも変わらぬご声援を宜しくお願い致します。



## 硬式テニス部

日頃より、硬式テニス部の活動を支援していただき有難うございます。

補助で買わせていただいたストリングマシーンで日々練習をしております。本年度もすべての大会で県大会に出場することができ、総体では男子県大会準優勝で北信越出場、新人セでは男子4位、女子6位と優秀な成績をおさめることができました。今後とも頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



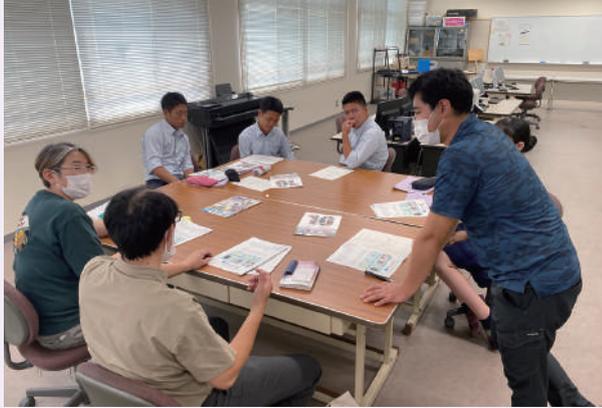
## コンピュータ制御部

続いてきたコロナ禍。イベントやコンテストがことごとく中止となり、「このままではコンピュータ制御部の活動が無くなってしまおう!」と、とても心配していました。しかし、こんな時でも応援くださったのは地域の皆さんでした。「テックレンジャーを途絶えさせないように!」と、ショーが開催できるように多くの皆様がギリギリまで生徒の活躍の場を作るように努力して頂きました。おかげさまでコロナ禍においても、多くのショーを実施できた事、とても感謝しております。これからもテックレンジャーは地域に恩返しをするために頑張っていきます。応援よろしくお願いいたします。



## 地域活性プロジェクト

「地域活性プロジェクト」は本校において最も特徴的な授業の一つです。3年生の全学科の生徒が共に学ぶとともに、地元企業と共に商業と工業の視点から地域を活性させることを目標に、毎年様々な探究テーマを掲げて学習をしています。



今年「統合創立10周年記念式典」を探究のテーマとし、同窓会の皆さまの多大なるご支援のもと、記念品とパンフレットの制作や式典当日の第2部の「生徒発表」をつくりあげることができました。本当にありがとうございました。今後も変わらぬご支援のほどよろしくお願いいたします。



## 電気部

電気部はROBOCON IN 信州2023 マイコンカーラリー競技で開校以来2度目となる優勝を果たしました。また、ジャパンマイコンカーラリー北信越地区大会で準優勝して全国大会に駒を進め、全国大会では予選でトップタイムを出して1位通過となりましたが、決勝トーナメント2回戦で惜しくも敗退し、全国ベスト16の成績となりました。それでも全国大会の会場で本校の学校名が繰り返し紹介され、全国有数の強豪校であることを印象づけることができました。



## 吹奏楽部

同窓会の皆様には、老朽化している楽器の更新に向けて多大なご支援を賜り感謝申し上げます。吹奏楽部は、夏の吹奏楽コンクールにおいて3年連続で地区大会金賞を受賞し、県大会では銀賞を受賞しました。秋の定期演奏会では500名のお客様に活動の成果をご鑑賞いただき好評をいただいております。また定期演奏会では、旧長姫高校、旧飯田工業高校、OIDE長姫高校の卒業生も加えたOBOG合同演奏を毎年行っており、世代を超えた交流をしながら歴史と伝統を紡いでいるところであります。今後も皆様に素敵な音楽をお届けできるよう取り組んでまいります。



## 定時制「授業支援金」

### 【教育活動の紹介】

新しい学習指導要領では、義務教育段階の学習内容が定着しないまま高校に入学する生徒への、いわゆる「学び直し」支援を重視しています。これは本校定時制でも大きな課題の一つであります。そこでその対応の一つとして、学校設定科目「ベーシック講座」を開講しました。ベーシック講座で導入しているのが、オンライン学習システム「すらら」です。受講者は各自のタブレット端末を用い、自分のペースで国語・数学・英語の学習を進め、担当教諭は生徒の進捗状況を確認しながら声かけ等を行い、生徒の学びを支援しています。このような次世代型の教育システムが導入できるのも同窓会の支援によるところが大きく、大変感謝しております。



## 商業研究部 ワープロ班

商業研究部 ワープロ班 3G 古田 詩乃

全国高等学校ワープロ競技大会に出場しました。3年生にとっては、最初で最後の団体での全国大会出場でした。「前の先輩方よりも高い順位」



を目標に、今まで練習してきたことを最大限発揮し、団体12位、個人では正確賞を受賞することができました。これは多くの方の応援や支えがあったからこそその結果だと感じ、感謝の気持ちでいっぱいです。

後輩たちには、全国大会で見たことや感じたことを伝えて、日頃応援して下さいる皆様へ、来年も良いご報告ができるように頑張りたいです。



## インターハイ報告(自転車競技)

英語科 宮下 俊宏



8月4日から北海道函館市で開催されたインターハイに、機械工学科三年黒澤響牙君と同科二年船澤亮太君が出場しました。黒澤君はロードレースとトラック競技の二種目、船澤君がトラック競技での出場。黒澤君は二年連続のインターハイ出場で、本年度は全国入賞を目標に掲げての挑戦でした。ロードレースは143名の選手が、アップダウンの激しい一周8キロのコースを11周。周回ごとに先頭から5分遅れで失格となり、34名のみが完走。黒澤君は、29位でゴール。トラック競技では、両選手とも目標順位を実現できず悔しい結果となりました。本校の自転車競技は部活動ではなく、個人活動であり、全国規模の大会で結果を出すためには、レース経験の場の少なさが大きな課題として残りました。



**創立10周年を迎えて**  
 生徒会長 福澤 麗



平成25年度に飯田工業高校と飯田

田長姫高校が統合し、飯田OIDE長姫高校として生まれ変わってから創立10周年を迎えました。私は、この記念すべき年を飯田OIDE長姫高校生徒会長として迎えられましたことを誠に嬉しく思います。

飯田OIDE長姫高校の特色は、やはり総合技術高校であることです。統合の際に飯田工業高校の建学の精神であった「OIDE」が継承されてきました。「OIDE」とは、「Originality(独創)・Imagination(想像)・Device(工夫)・Effort(努力)」の頭文字を取ったものです。校名にアルファベットを採用することで、県内初の総合技術高校で学ぶ生徒が、あらゆる分野において国際化が進展する現代に、グ

ローバルな視点を持って今後の産業経済の発展に寄与できる人材に育ってほしいとの願いを込めて命名されたそうです。

先日の9月13日に校歌碑建立除幕式が行われました。これは統合創立10周年という節目に合わせて、同窓会関係者の方々の厚意により建立されました。同窓会をはじめとする校歌碑建立関係者の方々には重ねてお礼申し上げます。本校の校歌は、羽場仁志さんが作詞・作曲をされており、校歌には珍しいPOPS調の明るく親しみやすい曲となっています。私が入学した頃は、新型コロナウイルス感染症の規制が緩和される前でしたので、校歌を歌うことが出来ませんでした。規制がほとんどなくなつた現在なら生徒の皆さんがこの校歌を歌える機会が増えていくと思います。一生に一度の高校生活で、生徒の皆さんにこの校歌が親しまれ、記憶に刻まれていくことを願います。私達生徒一同は、これから

先、紡がれていく飯田OIDE長姫高校の歴史・伝統を継承し、より学びを深め、地域に貢献できる人材になっていく必要があります。それこそが地域に出来る最大限の恩返しかと思えます。終わりに、同窓会をはじめとする関係者の皆様から感謝をし、飯田OIDE長姫高校のますますの発展を祈念してご挨拶いたします。

**定時制通信制高等学校  
 生徒生活体験発表大会に  
 参加して**

4年前 澤 稜 太

題名にある定時制通信制高等学校生徒生活体験発表大会とは、定時制や通信制で学ぶ生徒がお互いの経験や未来への希望や思いを発表し、今の学びに誇りを見出すための行事として開催されているものです。全国大会は今年で70回を数える伝統ある行事で、定時制や通信制に通う私たちのような高校生にとっては、年間行事の中で最も大切なものの一つとなっております。

9月16日に行われた今年の南信地区大会で、私は最優秀賞に選ばれました。夏休みにも何度も学校に行き練習を重ねてきた成果が認められ、大変嬉しく思っています。さらに、飯田OIDE長姫高等学校の統合創立10周年記念式典が行われる特別な年にも重なり、とても光栄に思っています。

県大会はちょうど本校の統合創立10周年記念式典と同じ日に開催されます。そのため記念式典には出席できませんが、学校を代表して自分の思いを精一杯発表できるように頑張りたいと思います。





**松川支部**

**松川支部定期総会を開催**

支部長 **西尾 幸久**

**支部だより**

令和5年6月17日、本会から須山会長をお迎えして、会員20名の参加をいただき、上新井公民館で定期総会を開催しました。

ここ数年は、コロナ禍で

社会生活が制限されてきましたが、5類に移行され

徐々に活動が緩和されてきております。

今年は統合創立10周年記念事業も計画されており、

須山会長からの力強いご挨拶もいただきました。

支部としては、今年も同窓会員の正確な把握に努め、

同窓会費の納入についての組織を確立し、活動資金を

調達すること、女性部の拡大充実組織の再構築、10周年記念事業への協力をする

ことなどを提案して承認しました。

県下初の総合技術高校としてスタートし、在校生も

学業はもとより、クラブ活動では全国的にも輝かしい

成果を上げています。10周年を契機に本校と同窓会の

益々の発展を祈念して、報告とさせていただきます。



**竜丘支部**

**竜丘支部統合について**

支部長 **牧内 靖幸**

令和4年9月18日に、ドライブイン開善路において、本部より須山会長、井口副会長、および澤柳副会長の臨席を賜り、会員23名出席のもと30番目の統合支部として発足しました。支部統合については、平成26年6月に、旧飯田工業の地区代表者が決まり、統合の準備に入りしました。しかし、旧飯田工業に竜丘支部が無いと言う事が影響してか、

途中で地区代表者が交代する等、紆余曲折が続き、関係者が努力を重ねて来ましたが、時が過ぎてしまいました。この様な中で、須山会長、澤柳副会長の御指導

**橋南支部**

**橋南支部総会開催**

支部長 **吉沢 武英**

橋南支部を紹介します。橋南支部は、飯田市役所が中心に有り、40ヶ町と城下に県営住宅が有ります。支部の構成は理事と云い町内を複数担当している人がいますが23名です。その中より支部長以下役員が互選されます。総会は以前は6月に行っていました。総会に出席してくれるのは役員ばかりでした。何とか大勢出席をと思いい、同窓会報を配っていたくのを以前より理事が行い支部長が集金して行きました。それを回収

をいただき統合する事が出来ました。統合しても組織的には十分と言えず支部を運営して行く中で、支部の目的である会員相互の親睦を図り、母校の繁栄と同窓会の発展に寄与する事を達成すべく活動し、組織の再編を図るよう検討を進めて行く必要があると思います。



日を設け、それを総会に当てました。少しは増え、会

伊賀良支部では去る6月17日に伊賀良公民館に於いて第8回支部定期総会が開催されました。今年もコロナ感染拡大のニュースが流れていた時期でもありまして、拡大防止の観点か



伊賀良支部  
第8回定期総会  
支部長 遠藤純一

員の意見も聞けるようになったと思います。載っている写真は昨年11月23日の総会で須山同窓会長をお迎えした写真です。

ら出席者を各理事までとしました。本会からは澤柳副会長に来賓としてご出席を頂き、本会の現在の動きや統合10周年の記念行事のお話をして頂きました。支部総会の議題は、事業報告・収支決算と監査報告、そして次年度の事業計画と収支予算案等の他に、2年任期の節目に当たるとため新規役員体制の確立と部規約の一部改正の議論と採決が成され、満場一致で承認されました。尚、学校統合創立10周年記念イベントには伊賀良支部より13名が出席しました。



飯島支部  
飯島支部定期総会開催  
支部長 下平文隆



去る7月30日同窓会飯島支部の定期総会が開催された。本会より須山会長、駒ヶ根支部より松崎支部長、中川支部長より福島支部長のご臨席を頂きました。コロナも5類移行を受け本年も静かに開催しました。須山会長からは10月に行われる統合創立10周年の記念事業の準備が生徒主体で進められている様子を聞き、新鮮な感じがしました。

伊南地区同窓会

ゴルフコンペ開催

駒ヶ根、飯島、中川、宮田、4市町村を伊南地区と呼んでいる。飯島支部の主催で第10回を迎えるゴルフコンペに駒ヶ根、中川にも呼びかけ、5名の参加を頂く中で開催した。車中の朝の乾杯に始まり、仕上げのパーティーまでほろ酔い気分の宴会ゴルフとなり友好



と親睦を深めることが出来ました。

下條支部  
統合創立10周年記念事業にて雑感…  
支部長 串原良彦

統合創立10周年記念事業に、私も実行委員の一人として、駐車場係でお手伝いをさせて頂いた。式典が始まる前にきちんとした制服に身を包んだ大勢の生徒さんが集まってきた。男女ともセンスある制服姿で制服が乱れている生徒が見当たらない。私たちの頃と

いえば、男子は学ラン、女子はセーラー服、特に男子はラップズボンに下駄ばき、いわゆるバンカラ：見るからに怖い格好だった。そんな中で入学と同時に、長姫神社境内で校歌と応援歌の練習、それはそれはおつかない先輩方の指導で、声がかかるほどの声を出して練

習した。今となつては懐かしい思い出だが、当時はおっかなくて登校拒否になる寸前であつた。

その駐車場係と一緒になつた、土木科(今は社会基盤工学科)の先生とお話をすることができた。「先生、今の生徒さんは乱れた格好をしている子はいないんですねー」先生「今の生徒は昔みたいな生徒はいませんよ」と、良い時代になつたと思う。

それともう一つ、今の就

職状況について聞いてみた。今も大手の会社や役所からの求人があるとのこと、私たちの頃もそうだったが今も変わらないらしい。先生

いわく、「企業は高校生をとつて技術者を育てるんだと思ひますよ」と、土木科の伝統が今に生きているのかと少し嬉しくなつたのである。今年、後期高齢者となつた土木科19回生の級友たちの弥栄を祈りつつペンを置きます。

### 香木支部 会費徴収の現状 支部長 宮下 一彦

10月7日に飯田OIDE長姫高校統合10周年記念式典が挙行され県下初の総合技術高校で学んでいる生徒の活躍ぶりが紹介され頼もしく感じられたところ。同窓会の支援が自由に学べる環境づくりの一助となり学生諸君の尚一層の活躍を期待するものであります。この為には、同窓会費を

安定的に確保することが必要であり、香木支部では52名の理事が会費の徴収に当たっている所です。各理事が会員各位に支援の必要性を説明しながら会費の徴収を行っているところですが、最近辞退者が少なからずおり苦慮しているところ。会員の状況においても今年度新たに8名の会員を迎



えつつも会員の高齢化により横ばいから徴収の状況であります。今後とも会員の減少を抑え確保する為には会員相互の親睦を図り支援に対する理解を深めることが大切であります。新型コロナウイルス対策も軽減され以前のような親睦行事を実施することにより会員各位の連携が深まり会員の減少に歯止めがかかることを期待するものです。

### 泰阜支部 泰阜支部総会開催と役員 支部長 宮島 徳男

祝！統合10周年。令和4年11月13日、コロナ禍ではありましたが検温・体調確認等を行い、定期総会及び懇親会を須山会長をお迎えし開催いたしました。

当支部は令和30年の発足です。発足に当たっては本会の役員の皆様にご指導頂き今総会で退任された初代支部長の林節夫氏が公私共に(当時は村議会議長)お忙しい中、各地区の会員に声を掛け約100人の会員をまとめ泰阜支部を立ち上げ



この間先頭に立ち運営されました。今後、林氏には顧問をお願いし浅学菲才な私が支部長の席を汚させて頂

く事となりました。本会及び支部の役員、会員の皆様のご協力を頂き支部活動を続けたいと考えます。

### 龍江支部 龍江支部総会開催 幹事 稲垣 清司

令和5年10月7日に開催された長野県飯田OIDE長姫高等学校統合創立10周

年記念式典に参加して、県下初の総合技術校としての10年でしっかり足元を固



支部統合から1年経過した令和5年7月2日に座光寺公民館にて本部の須山会

座光寺支部

## 座光寺支部総会開催

支部長 岡 鳥 正 伸

め存在感を高めていることを実感し、OBとして大変嬉しく思いました。両校の伝統と技術を継承し、地域内外から大きな注目を集め産業経済に発展に寄与する人材の輩出に大きく貢献しており、後輩達の活躍を心強く誇りに感ずる次第です。

未来にはばたく若者への応援歌の校歌「虹の道標」は、現代風の曲で心地よく、小生も早く口ずさめるようになります。最後に飯田OIDE長姫高校と同窓会の益々のご発展と皆様方のご健勝ご多幸をご祈念申し上げます。

長をお迎えして第2回座光寺支部総会を10人の会員の参加を頂き開催しました。

総会では、前年度の事業報告、会計報告及び監査報告を承認し、本年度の事業計画及び予算案について審議し承認されました。

議事に先立ち会長より母校の様子や生徒の部活動の様子の話があり、活躍している生徒の姿の紹介で何とも頼もしく誇らしく感じました。

総会后、数日して会員の方より通知の返信方法や総会に地域で活躍しているO



飯田長姫、飯田工業の母校が統合して、各地区では統合同窓会が活動しており、北信地区にも統合同窓会を発足するよう本部より要請があり、先般令和2年計画

北信支部

## 北信支部設立総会が開催される

支部長 小 池 二千郎

Bの講話を聞く等のご意見を頂きました。そこで提案の趣旨を踏まえ総会の持ち

方等を改善してより多くの会員に参加頂けるよう努めていきたいと思えます。

三穂支部は令和5年度定期総会を7月21日にドライブイン開善路で支部会員10名、本会より井口副会長に御出席頂き開催致しました。

前年迄は秋以降に行う事が多かったのですが、今年

三穂支部

## 7月21日定期総会開催

支部長 今 村 実

北信支部対象地域(長野、須坂、中野、飯山、大町、

田OIDE長姫同窓会北信支部を発足する事に致しました。

同窓生の皆様に周知して、会員の拡大を図っていかうと思えます。対象地域の皆様是非参加をお願いいたします。

度は10周年記念事業がある事と柿仕事が多い地域である事を考慮し7月としました。

井口副会長から生徒や学校の様子等を説明頂き、後輩達の活躍にエールを送り

千曲、小布施など)の同窓生名簿から70名程に案内を送付して設立総会にこぎつけました。同窓会についての認識が薄く参加者は7名と少人数になりましたが、本部から須山和彦会長が来られて近況説明され、まずは、初対面の人たちでした。飯田OIDE長姫同窓会北信支部を令和5年7月29日(土)発足することが出来ました。今後の活動について、



### 中川支部 会員のためになる活動を目指して

事務局 宮崎 朋実

中川支部では支部総会を令和4年11月13日に開催し、本会より沢柳副会長様にご列席頂き、総勢15名の参加により行いました。新型コロナウイルスの影響が懸念される中ではありましたが、支部活動を継続的に維持するためにも、総会の開催を行い、簡素化した懇親会も併せて催しながら会員間の交流を図りました。

当支部では、活動報告と併せて、会員間の情報

ました。  
議事ではいつもの議案報告、承認や10周年記念事業の大まかな説明等を行い、その後和やかな懇親会では会員同志の絆を改めて深める事や総会への出席者が増える事を願いつつ終了しました。



### 千代支部 定期総会開催

支部長 小澤 正昭

令和5年度支部定期総会を役員他17名の出席で開催することが出来ました。

前年度の事業報告、会計報告等承認、更に役員改選案も承認され新体制が誕生。終了後、コロナ禍で行な

交換の促進を図るため、毎年支部会報を発行していま

す。令和4年度の支部会報では、会員の開いている無人直売所の紹介や地域で行っている森林整備活動などの記事を掲載しました。

引き続き会員相互の情報交換ができる場として支部会報を活用していただけるよう、令和5年度版の編纂に努めていきます。

同窓会活動という堅苦しく型にはまった活動だけではなく、会員の仕事や生活に役に立つような活動を行えばと思います。

令和5年度支部定期総会を役員他17名の出席で開催することが出来ました。

前年度の事業報告、会計報告等承認、更に役員改選案も承認され新体制が誕生。終了後、コロナ禍で行な

交換の促進を図るため、毎年支部会報を発行していま

す。令和4年度の支部会報では、会員の開いている無人直売所の紹介や地域で行っている森林整備活動などの記事を掲載しました。

引き続き会員相互の情報交換ができる場として支部会報を活用していただけるよう、令和5年度版の編纂に努めていきます。

同窓会活動という堅苦しく型にはまった活動だけではなく、会員の仕事や生活に役に立つような活動を行えばと思います。

### 山本支部 支部総会の開催

支部長 竹村 隆夫

山本支部としては令和5年7月30日に本年度の支部総会を、本会より須山同窓会長さんより出席して頂き、コロナ禍4年振りに開催することが出来ました。4年ぶりの支部総会であり、須山会長さんより本会10周年開催のお礼の言葉があり、母校の近況等もお聞かせ頂き、議事として事業報告・決算報告及び今度の支部としての会報配布と会費徴収

の取り組み等の検討をして頂き、会員相互の交流を深めてスムーズに会費の徴収も図れるよう、14人という少人数の総会でしたが、懇親を深めながら会議を持つことが出来ました。宴会は今回は行わずに折詰めを持ち帰って頂きました。次年度の総会には多勢参加していただき、懇親会を持って親睦を図りたいと思っております。

山本支部としては令和5年7月30日に本年度の支部総会を、本会より須山同窓会長さんより出席して頂き、コロナ禍4年振りに開催することが出来ました。4年ぶりの支部総会であり、須山会長さんより本会10周年開催のお礼の言葉があり、母校の近況等もお聞かせ頂き、議事として事業報告・決算報告及び今度の支部としての会報配布と会費徴収

の取り組み等の検討をして頂き、会員相互の交流を深めてスムーズに会費の徴収も図れるよう、14人という少人数の総会でしたが、懇親を深めながら会議を持つことが出来ました。宴会は今回は行わずに折詰めを持ち帰って頂きました。次年度の総会には多勢参加していただき、懇親会を持って親睦を図りたいと思っております。

メディアでOIDE長姫高校の活躍を目にすることが多くなったと感じています。在校生及び教職員の皆さんに敬意を評するとともに同窓会員として誇りにも思えます。

当支部管内には百数十人の卒業生がいますが、改めて名簿確認のうえ皆で母校となったOIDE長姫高校を応援していきたいと思

高森支部では6月28日、ドライブイン「柳」にて、須山会長をお迎えして支部総会を開催しました。

コロナ禍でこのところ役員会のみでしたが、漸く通常の総会開催ができる運びとなり22名が出席しました。今年度より支部役員が改選となり、前・新支部長挨拶、新役員紹介、続いて



**高森支部**

**支部総会開催される**

副支部長 松下信義

事業・会計の議事を行いました。終了後、『須山会長と語る会』として会長より、統合10周年を迎えての、今後の同窓会の方向と記念事業について詳しくお話をさせていただきました。

懇親会では須山会長にもご参加頂き、大変盛り上がる支部総会となりました。

令和5年10月27日に県支部総会が開催され、会場となった鼎上山区民センターには来賓としてお越しいただいた澤柳副会長以下19名の会員が参集し1年間の活動報告と6年度の活動計画を決定しました。

新年度の活動は、マレットゴルフだけでなく、天候に左右されないボウリングも候補に挙げ、多くの会員

**県支部**

**令和5年度県支部総会が開催**

支部長 鈴木好雄

5月28日(日)阿智村中央公民館会議室に於いて、阿智支部設立総会を開催しました。

当地区には400名を超える旧両校の卒業生が在住していますが、総会を迎えるにあたり事前準備として、合併による旧浪合村と旧清内路村の名簿の統合や、旧

**阿智支部**

**阿智支部設立総会開催**

支部長 水上宗光

飯田工業高校、旧飯田長姫高校の名簿の精査など準備を行い、総会を迎えることとなりました。

当日の会員の出席は少数ではありましたが、無事阿智支部設立の運びとなりました。今後は、阿智支部の活動がより活発になるよう皆様方のご支援ご協力を賜



当同窓会からは、今回6名が参加させていただきました。中には1名卒業の大先輩(旧建築26期)も参加いただきました。関東地区はコロナの影響もあり、9月24日(日)に4年ぶりの総会・懇親会の開催が出来ました。引き続き10月7日(土)の式典に参加でき、同窓会の意義、良さを改めて感じさせられました。高校及び本部同窓会共にこれからも増々の発展を祈念しつつ、忙しい行程でしたが帰路につきました。

**関東地区**

**統合創立十周年記念式典への参加**

会長 伊奈川正美

りながら、一歩ずつ進めてまいりたいと思います。阿智支部設立にあたり須山会長はじめ本部の皆様方にご尽力頂きましたこと、この場をお借りして感謝申し上げます。

下久堅支部  
**下久堅支部総会開催**  
支部長 林 幸次

下久堅支部の令和5年度定期総会を、8月3日(木)下久堅公民館において開催しました。本会から清水勇副会長兼事務局長様に来賓としてご臨



席賜り、来る10月に行われる「統合創立10周年記念式典」について詳しくお話をさせていただきました。  
かつて下久堅支部の再編統合の取り組みは、本会の指導に基づき行いましたが月日ばかり過ぎて思うように進展しませんでした。その原因は、それぞれの同窓会組織に馴染めない、役員を受ける人がいない等々の問題が、何回話し合いを行なっても解決出来ませんでした。最終的には、本会の指導が始まってから5年後の令和5年に、

旧役員の並々ならぬ努力と責任感でやっとなり、今年度が記念すべき5周年を迎えます。今後は役員の指導力強化を図り、特に若い同窓会員が魅力を感じて参加でき、一層の会員増強を図って参ります。

令和5年度支部長 林 幸次  
副支部長 平澤 賢一郎  
事務局長 平澤 政一  
過日行われた「統合創立10周年記念式典・祝賀会」に遠路ご参加いただいた下久堅出身者の方です。卒業以来の再会に、下久堅支部役員とも懇親を深めました。  
宮内 龍夫さん  
商業18期 長野市在住  
(元須坂商業校長)  
荒木(牧内)次子さん  
商業19期 千葉県在住

豊丘支部  
**豊丘支部総会開催**  
副支部長 菅 沼 和 廣

豊丘支部の「令和5年度定期総会」を7月15日に営農支援センター「だいち」にて本部より須山会長にご臨席いただき行いました。22名の出席のもと各議案が提案、承認されました。須山会長の祝辞でラグビー部、野球部の活躍又技術、文化系の大会で優秀な成績を収めていることをお聞きして同窓会の意義を

再認識しました。総会の後3年ぶりに懇親会を行いました。久しぶりの飲み会で話はずみ思ひ出話等で予定時間もあつという間に過ぎ有意義な懇親会ができました。お互いの親睦を深めるためにも年1回の懇親会は、必要だと感じました。会員相互の融和を大切に同窓会を盛り上げて行きたいと思ひます。

橋北支部  
**総会前にマレットゴルフ大会を開催**  
副支部長 藤 本 勝

令和5年7月29日(土)第10回橋北支部の定期総会を、橋北公民館で開催しました。総会前に恒例となったマレットゴルフ大会が行われ、酷暑の中ではありますが、それ以上に熱の入ったプレーで、親睦を深めることが出来ました。その後、橋北公民館へ移動し、来賓に澤柳同窓会長をお迎えし、総会が盛大に行われました。澤柳副会長からは「統合創立10周年記念事業」について詳細な説明が



あり、母校の隆昌の一節ともなる事業に向け、同の協力体制が深まりました。議事では4年度の活動報告・会計報告ならびに5年度の活動計画案・予算案が承認されました。また、本年度は役員改選の年に当たり、新たに若い2名の役員が選任され、新入会員の増員と、会費納入に努めることや、マレットゴルフ大会への参加をお願いしました。続いて懇親会に入り、2時間余にわたって楽しいひと時を過ごすことができました。

# 飯田OIDE長姫高校同窓会

## ゴルフコンペ 第19回 第20回 開催

ゴルフ协会会长

竹内昇五

今般もコロナ禍のためハーフの集計にて開催、開会式も懇親会もなしと決定し第19回秋季コンペを令和4年11月2日に飯田CCで開催、68名の参加、優勝はグランドシニアの部木下正樹さん、一般の部は中塚功二さんが3連覇しました。

第20回春季コンペは令和5年6月7日高森CCで開催、今回よりコロナ5類に移行となり通常開催として開会式・懇親会も開くこととしコンペを開催、78名が参加、グランドシニアは宮澤茂子さんが優勝し女性は初めです。一般の部は鹿角明彦さんが優勝。懇親会にて須山会長さんのご挨拶を頂き、飯田OIDE長姫高校統合創立10周年の記念大会となり同窓生の絆が一層強くなったゴルフ大会となりました。同窓生の多数の参加をお待ちしています。

第20回春季ゴルフコンペ結果

第19回秋季ゴルフコンペ結果

〈グランドシニアの部〉

順位	参加者氏名	NET
優勝	宮澤茂子	70.6
準優勝	中垣啓成	71.2
3位	大嶋文雄	72.2
4位	能登仁	72.2
5位	吉村清	72.2
6位	関島盛皓	72.4
7位	松井芳之	72.4
8位	吉川文人	72.8
9位	熊谷隆光	73.4
10位	佐々木和	73.4

〈一般の部〉

順位	参加者氏名	NET
優勝	鹿角明彦	70.2
準優勝	吉沢康彦	72.2
3位	成澤晃明	73.2
4位	上野義明	73.6
5位	新井千道	74.6
6位	岩永哲	74.6
7位	清水伸彦	75.0
8位	中塚功二	75.8
9位	小嶋和明	76.0
10位	吉津康則	76.0

〈グランドシニアの部〉

順位	参加者氏名	NET
優勝	木下正樹	35.4
準優勝	塩沢敏彦	35.8
3位	篠田順	36.2
4位	吉澤章夫	36.4
5位	後藤英一	36.6
6位	金田稔	36.6
7位	宮内久幸	36.6
8位	熊谷芳章	36.8
9位	小川光春	36.8
10位	榊原礼二	37.0

〈一般の部〉

順位	参加者氏名	NET
優勝	中塚功二	34.4
準優勝	林善次	35.2
3位	山田利隆	35.6
4位	村澤和子	36.2
5位	勝又千臣	36.6
6位	佐藤義則	37.0
7位	木下健一	37.2
8位	森山剛	37.2
9位	宮脇正一	37.4
10位	田中峻之	37.8



「マスターズ甲子園」とは…全国の高校野球OB・OGが性別、世代、キャリア等の壁を超え、出身校別にチームを結成し、聖地【甲子園球場】を目指そうとするものです。昨年は長野県選抜チーム(50選手で編成)で本大会に出場し、本校OB会からは尾曾陽太、熊谷蓮哉両氏が参加しました。

試合は和歌山県代表の日高中津高校と対戦をしました。二人とも先発メンバーで出場し、憧れの聖地でのびのびプレー、それぞれヒットを打ち活躍してくれました。

来年こそは単独チーム(飯田OIDE長姫高校OB会)で聖地【甲子園球場】を目指したいと思います。同窓会の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願ひします。

### マスターズ甲子園出場目指して2

野球部OB会(マスターズ監督)

伊壺英俊

「マスターズ甲子園」として。

尾曾君の感想です。

「グラウンドに立つと、テレビでしか見たことのない光景が目の前に広がっており、言葉にならない想いがこみ上げてきました。試合には惜しくも敗れましたが、寄せ集めのチームが最後には一つのチームとして一丸となり、憧れの舞台とともにプレーできたことに感激し、マスターズを通して改めて野球の素晴らしさを知ることができました」



近年のラグビー部の活躍には目を見張るものがあります。

昨年の県大会では決勝で岡谷工業高校に敗れましたが、41年ぶりの決勝進出。今年には春に北信越大会出場、夏には7人制で全国大会出場。そして秋には県大会において決勝で飯田高校に勝利し、花園ラグビー場で開催される全国大会に出場を決めました。花園ラグビーへの出場は57年ぶりとなる快挙です。ラグビー部のみならず、この様な母校の各クラブの活躍は我々卒業生としても喜ばしく、また誇らしい気持ちになります。

現在のラグビー部の活躍は、選手・コーチ陣の奮闘によるものですが、学校教育や同窓会・保護者会からの応援と支援も大きな力になっていと感じます。当OB会

も微力ながらラグビー部活動への支援と選手強化を目的に活動を続けております。

全国高等学校103回花園ラグビー大会は12月27日から開催されます。次は花園での初勝利を期待するところではありますが、全国大会出場となると選手団の交通費と宿泊費、ジャージの新調、応援団の交通費補助、応援グッズの充実等々、多くの費用を必要とします。こうした費用を捻出するために、保護者会をはじめ関係機関が団結して後援会を結成し、支援金の募集を行っておりますので、同窓会の皆様にも何卒ご協力と応援をお願い致します。

さて、ラグビー部は学校統合以前に長姫高校・工業高校の順で発足しましたが、最初の発足から数えて来年には70周年を迎えます。当OB会として来年9月22日に「創部70周年記念行事」を計画しております。行事の目玉として、現役チームと県外強豪高校チームの招待試合を行う予定ですので、グランドに足を運んで頂き応援をお願い致します。

花園大会出場への寄付のご協力をお願い致します。



OB会についての問い合わせ先  
事務局 木下隆義  
電話 090-4018-9751



ラグビー部OB会  
姫城クラブ エンブレム



# 女性部会

部長 塩澤 りる子

まずは、女性委員会の皆様  
様に統合創立10周年記念事業  
業に於いては、それぞれの部  
所のお手伝いをご理解いた  
だきながらご協力をいただき  
き、無事にそして大成功の  
うちに終ることができまし  
たこと、感謝のほかありま  
せん。今回は支部単位での  
新しい方法のやり方であった

こと、お気付きと思います。  
そして夏頃からは、水引  
会を立ち上げて生徒・先生・  
同窓会員全員の胸リボンを  
製作し、あわじ結びによる  
クラスカラーは生徒に、クラ  
スカラー全色を先生に、そ  
れ以外のカラーでOB  
及び同窓会員にとピ  
ンクの花芯で全員を  
統一するという色分に  
して、誰にでも判る  
形に色分けして胸に  
つけて貰い、なかな



かの好評でした。  
作業することにより、チ  
ームワークも出来、女性会  
員のお顔が見える作業であ  
ったと喜んでいただけただ、す  
ばらしい結果に終り感謝申  
し上げます。

ました。大学1年から3年  
生まで働き、4年生から外  
交官試験に向けて勉強を始  
めました。5年目は不合格  
6年目に合格しました。ど  
んな目標でも、コツコツ毎  
日地道に2〜3年勉強すれ  
ば何でも出来る実感しまし  
た。飯田OIDE長姫高校  
の皆さん。自分の好きな事  
やりたいことを決めて、是  
非毎日コツコツ課題を熟し  
てください。必ず目標に到  
達します。頑張ってください

した。特に数学が嫌いな中  
南米の人達が数学を好きに  
なるようにと、東京理科  
大学の秋山特任副学長(当  
時)の協力を得てドミニカ  
共和国に東京理科大と同じ  
数学体験館を創り、ドミニ  
カの学生が数学を楽しく学  
び、貧困を撲滅して国を発  
展させて行く基礎を作りま  
した。今年の9月にはその  
フォローアップ事業として  
10名のドミニカの数学教師  
を招待して、理科大で集中  
数学研修を行いました。現  
在その成果が少しずつ出始  
めています。

## 寄稿文

### 活躍されている卒業生

牧内博幸



牧内博幸氏 プロフィール

飯田工業 機械科 18回生、法政  
大学卒業、東京理科大学国際化推進  
センター長、日本ラテンアメリカ協  
会監事、元バルセロナ総領事、元ド  
ミニカ共和国大使

ラグビー  
をしてい  
た先輩と  
して、今  
回の飯田  
OIDE  
長姫高校  
ラグビー  
部の花園

3月まで旧飯田工業高校で  
先ず最初に、1973年

全国大会出場に対して心か  
らお祝い申し上げます。当

時私も花園を目指して一生  
懸命練習をしていましたが、  
強豪下伊那農業や長姫高校  
には勝てませんでした。私  
は11月までラグビーをして  
いて良い就職口を失い、悩  
んだ挙句3カ月猛勉強で何  
とか法政大学の夜間に進学  
できました。法政では良き  
同級生に恵まれ、同級生の  
一人は外交官を目指して勉  
強をしていました。何の目  
標もなかった私も、自分の  
お金がなくても国家試験に  
受ければ、世界を舞台に仕  
事ができる外交官を目指し

外務省での仕事は合計で  
41年間、うち31年間はヨー  
ロッパと中南米の国、合計  
8ヶ国で勤務しました。楽  
しい事、苦しい事など色々  
な経験をさせてもらいまし  
た。最後の7年間の最初の  
2年はスペインのバルセロ  
ナで総領事の仕事を、  
次の5年間はカリブ海のド  
ミニカ共和国で大使として  
仕事をしました。大使とし  
て最も力を入れた仕事の一  
つは、中南米諸国の発展の  
ために最も重要と思った教  
育に対して協力することで

飯田OIDE長姫高校の  
学生の皆さん。世界には気  
候温暖化、戦争と避難民の  
増加などなど大きな課題が  
どんどん増えています。今、  
これらの課題に挑戦する若  
き皆さんの力が必要です。  
現在の高校での勉強を今一  
歩進め、深め、飯田の地域  
社会の課題、そして日本や  
世界の課題に取り組む人材  
になれんことを切に祈っ  
ています。

# 維持会費納入のお願い

同窓会費の納入につきましてご協力いただき感謝申し上げます。

維持会費につきましては、例年通り年間1,000円をお願いすることになっております。この会費は、母校の授業支援(2,000,000円)を主に(支援金費用の内訳7~10ページ参照)会員相互の親睦・支部育成・会報発行等に使用させていただいております。趣旨をご理解いただき会費の納入には是非ご協力いただきたいと思います。なお、OIDE長姫高校を卒業した第1期生の皆さんには卒業後8年分の会費を卒業時に納めていただいておりますが、その期間が終了したため今年度より納めて頂くことになります。

個々に会報を送付している会員の皆様には、到着後早期にご送金をお願いいたします。各支部におかれましては、会報を届けていただいで集金をお願いいたします。

## 2023年度 定期総会予告

● 2024年6月1日(土)  
午後2時より  
● 会場・シルクホテル  
● 飯伊地区は地元新聞広告、全国へはホームページでもお知らせします。  
◆ 多数の同窓生のご出席をお待ちしております。

## 飯田OIDE長姫高等学校同窓会ホームページ

<http://iida-oide-osahime-reunion.com>

TEL&FAX 0265 - 48 - 5422



### 会員計報

ご冥福をお祈りします

士23	商22	建20	定17	士16	商15	商15	商13	商12	商11	商11	士10	商10	士9	士9	商8	建8	定7	定7	士7	士6	商6	商5	商4	士4	商4	士4	商3	旧23	旧23	旧23	旧22	旧20	旧19	旧17	新井昌博																																												
田中利一	瀬高政美	代田孝光	田中信雄	鈴木健二	山下健二	関島洵一	塩沢和生	下平仁	寺澤信	板倉紘	遠山繁信	鈴木重義	鈴木有次	棚田實	清水執二	佐藤好男	吉川久夫	土井久夫	湯沢年男	湯沢明博	杉山繁	秋山繁	座光寺恒助	下平和好	下平和好	田中三男	河本三男	城田博文	酒井計治	清野大吉郎	田中敏男	川合貞一郎	川合貞一郎																																														
R3・05・23	R4・07・19	H28・05・08	H29・10・19	R4・06・04	R4・06・06	R2・01・30	H30・03・28	R4・03・02	R4・03・02	R4・02・18	R4・02・19	H30・03・21	R4・03・27	H29・10・09	R4・02・04	R4・02・11	R4・07・13	R4・10・01	R4・05・28	R5・01・05	R4・08・08	R2・12・26	H29・07・22	R3・12・26	R3・08・28	R4・07・29	R2・01・08	R4・06・10	R3・05・23	R4・06・06	R4・06・06																																																
機械3	定9	商9	定7	定6	定6	上郷2	定6	定6	商7	商7	定5	士6	建5	定4	士5	商5	商5	商4	士4	定3	商4	商4	定2	商3	士3	定2	旧26	建1	旧25	旧24	旧23	旧22	旧21	旧21	旧16	旧12	建27	定25	機械16	上沼和好	三浦勇夫	湯沢武	三室英秋	松下宗人	吉川雅啓	代田四郎	倉田長次	代田四郎	矢島芳太郎	川野道人	久保田正勝	三石忠臣	松下将昭	光沢英美	吉澤永幸	森岡正皓	矢沢旦生	木下庄三	木下章治	松葉義和	宮下真人	松沢二三	山野辺米雄	矢沢唯好	渡辺明雄	宮島一	駒瀬祐二	丸山昭司	山野辺米雄	横前昌彦	鎌倉義之	熊崎佳直	北原昭二	山田昭二	南井忠夫	三浦利隆	松井良隆	園原義則	塩澤俊夫
R5・01・26	R3・11・25	H30・05・19	R1・09・14	R3・03・21	R1・07・31	R4・02・27	R3・03・23	R4・02・27	R3・04・08	R4・04・29	R1・04・23	H29・06・30	R2・07・22	R5・02・28	R4・04・28	R5・01・03	R4・01・07	R4・08・29	R4・08・03	R4・05・12	R3・11・17	R2・02・01	H29・05・02	R4・02・12	R5・02・04	R3・08・30	R1・01・22	R3・01・24	H29・05・02	R4・11・04	H30・01・22	H28・03・01	H28・12・25	H30・09・27	R1・08・21	H30・01・31	R4・10・28	H29・01・23	R1・10・23	R1・01・26	R3・08・08	H27・11・24	R2・02・11	R3・07・11	R1・10・09	R4・11・30	R1・05・30	R3・12・15	R5・03・25	R4・09・19	H30・05・07	H30・02・27	R1・04・27	R1・05・27	R1・04・26	R4・12・18	H30・11・30	R1・04・26	R1・04・26	R1・12・18	H29・11・04	R4・11・30	R3・12・24	R1・12・06	H30・10・18	R4・13・16	R4・10・08	H28・12・07	H28・05・07	H29・09・16	H30・12・14	R1・02・24	R3・12・14	R4・11・24	R1・09・11	R1・05・27			
機械55	鎌倉	定44	商40	電気27	定33	定31	機械23	機械22	定27	定27	機械19	商25	定23	定22	商22	商22	定20	定19	機械12	定18	定10	士17	電気9	士17	定15	電気7	定14	商14	定11	定11	機械3	士11	士11	榊原圭二	吉沢美香	関口敦	村松正彦	木下稔	古谷則之	木下卓実	和田和子	吉沢信也	桐生秀男	栗塚雅久	矢田幸由	香山隆子	北島辰雄	木下恒幸	木村民雄	的場定	横田道博	紀園正通	松田忠弘	小島福夫	和田仙造	山岸晶彦	松下清	小平宇雄	横山明	小林義克	櫛原武夫	小島賢次	唐沢昭	片桐寿昭	熊谷勉														
R2・10・01	R3・08・26	R3・02・08	H27・11・24	R2・07・11	R1・10・09	R4・11・30	R1・05・30	R3・12・15	R5・03・25	R4・09・19	H30・05・07	H30・02・27	R1・04・27	R1・05・27	R1・04・26	R4・12・18	H30・11・30	R1・04・26	R1・04・26	R1・12・18	H29・11・04	R4・11・30	R3・12・24	R1・12・06	H30・10・18	R4・13・16	R4・10・08	H28・12・07	H28・05・07	H29・09・16	H30・12・14	R1・02・24	R3・12・14	R4・11・24	R1・09・11	R1・05・27	R2・10・01	R3・08・26	R3・02・08	H27・11・24	R2・07・11	R1・10・09	R4・11・30	R1・05・30	R3・12・15	R5・03・25	R4・09・19	H30・05・07	H30・02・27	R1・04・27	R1・05・27	R1・04・26	R4・12・18	H30・11・30	R1・04・26	R1・04・26	R1・12・18	H29・11・04	R4・11・30	R3・12・24	R1・12・06	H30・10・18	R4・13・16	R4・10・08	H28・12・07	H28・05・07	H29・09・16	H30・12・14	R1・02・24	R3・12・14	R4・11・24	R1・09・11	R1・05・27						

注)ご家族、支部の皆様からの報告により、お知らせしております。



# 令和4年度 卒業生進路状況

## 1. 全般の進路状況

進路 課程・学科		就職			進学				その他	計
		企業	公務員	自営	大学	短期大学	高専編入	専門学校等		
全日制	機械工学科	19	0	1	5	0	0	12	0	37
	電子機械工学科	17	2	0	9	0	0	11	1	40
	電気電子工学科	11	1	0	17	0	0	11	0	40
	社会基盤工学科	22	4	0	4	0	0	6	0	36
	建築学科	8	3	0	15	1	0	10	1	38
	商業科	14	1	0	14	12	0	32	1	74
定時制	普通科	6	0	0	1	0	0	1	6	14
	基礎工学科	4	0	0	0	0	0	0	1	5
計		101	11	1	65	13	0	83	10	284

## 2. 業種別就職者数

業種 課程・学科		農業	建設	製造	電気	情報	運輸	卸売り	金融	物品	専門技術	宿泊	生活関連	医療	複合	他の	公務員	計
		林業			ガス	通信	郵便	小売り		賃貸	サービス	飲食	サービス	福祉	サービス	サービス		
全日制	機械工学科	0	0	16	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	20
	電子機械工学科	0	2	14	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19
	電気電子工学科	0	4	2	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	12
	社会基盤工学科	0	10	3	4	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	1	4	26
	建築学科	0	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	11
	商業科	0	0	6	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3	3	0	1	15
定時制	普通科	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	基礎工学科	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4
計		0	24	49	10	0	1	4	0	0	3	0	0	3	3	5	11	113

## 3. 地域別就職者数

地域 課程・学科		管内	県内	中京・東海	関東	関西	その他	計
		全日制	機械工学科	16	3	1	0	0
電子機械工学科	12		1	6	0	0	0	19
電気電子工学科	7		1	2	2	0	0	12
社会基盤工学科	10		4	7	5	0	0	26
建築学科	6		2	1	2	0	0	11
商業科	14		1	0	0	0	0	15
定時制	普通科	6	0	0	0	0	0	6
	基礎工学科	4	0	0	0	0	0	4
計		75	12	17	9	0	0	113

### 編集後記

同窓会報11号の発行には、各支部長の皆さん・同窓会役員・学校関係者の皆さんには原稿提出にあたりご協力ありがとうございました。

今回は「統合創立10周年」記念事業の式典と祝賀会もあり、実行委員の皆様ご協力により盛大にできました。式典の1部では来賓の祝辞、同窓会から学校へ記念品贈呈などがあり、2部は生徒による、部活などの取組み発表など大変盛り上がる式典になりました。

祝賀会はシルクプラザで260人ほどの参加を頂き祝いの木遣り(北信支部)で始まり、祝い太鼓(常磐太鼓)4人の県会議員皆様の乾杯で祝宴が始まり、佐藤市長の万歳で盛大な祝宴が開きとなりました。

またラグビー部が第103回花園ラグビー大会への参加が決まり「創立10周年事業」に花を添えて頂きました。保護者会を中心に、OB、同窓会も寄付のお願いに取組んでいます。同窓会の皆様の温かなご協力をお願いします。

諸事俯により同窓会発行が遅れたことをご詫びいたします。

事務局長 清水 勇